



2026年1月26日

各 位

会 社 名 BCC株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 伊藤 一彦
(コード: 7376 東証グロース)

問 合 せ 先 取締役 CSO 小出 契太
(TEL 06-6208-5030)

中堅・中小企業の VPN セキュリティ課題に対応

多要素認証と ID 管理を標準搭載した「BM X Type M Security plus」提供開始のお知らせ

当社は、ネットワークをマネージドで実現するサービス「BCC managed cross（ビーシーシーマネージドクロス）」（通称：BM X）のラインアップとして、多要素認証と ID 管理を組み合わせたセキュリティパッケージ「BM X Type M Security plus」の提供を開始したことをお知らせいたします。

■リリースの背景

近年、ランサムウェアをはじめとするサイバー攻撃は増加の一途をたどっており、その標的は大企業に限らず、中堅・中小企業にも広がっています。

従来はフィッシングメールやスパムメールが主な侵入経路でしたが、VPN の脆弱性を悪用した攻撃や、漏洩した認証情報を利用した不正アクセスが、2025年において最も多い侵入経路となっています。

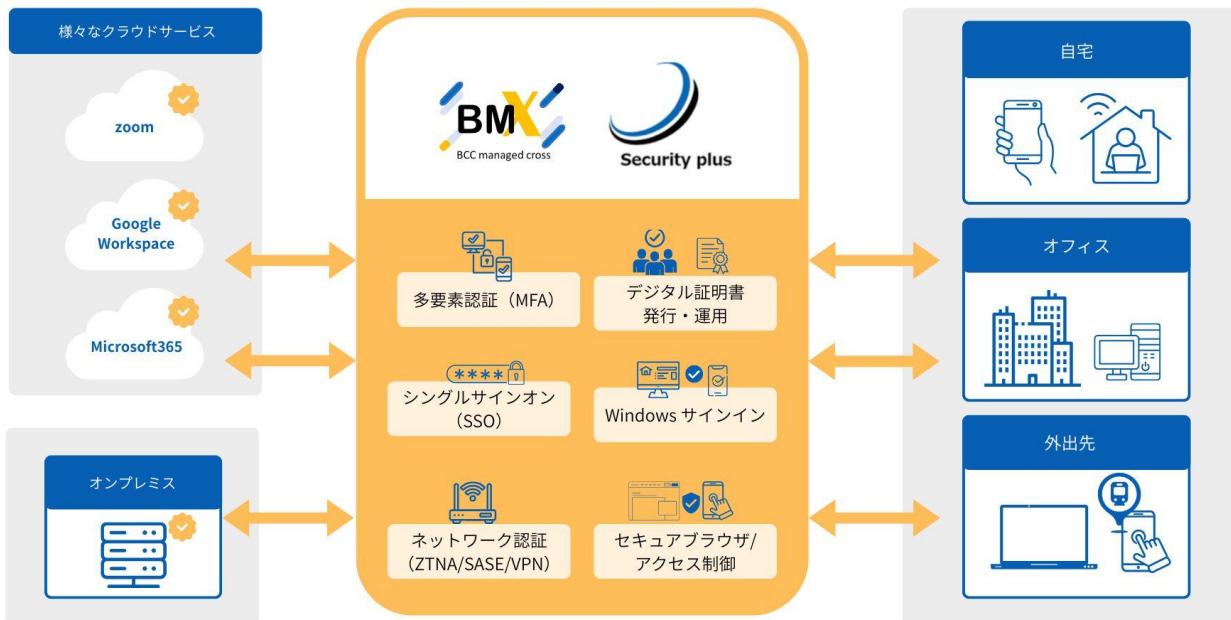
こうした状況から、従来型の VPN 運用を見直し、多要素認証（MFA）や ZTNA といった認証・アクセス制御を強化する動きが改めて注目されています。

当社はこの課題に対し、Cisco Meraki を活用したネットワークサービス「BM X」シリーズのひとつである「Type M」において、セキュリティと運用を一体で提供する新たなパッケージとして提供を開始しました。

■サービス概要

「BM X Type M Security plus」は、Type M で提供するネットワークハードウェアおよびリモートアクセス機能に、多要素認証と ID 管理を組み合わせ、VPN の脆弱性対策と運用負荷軽減を同時に実現するセキュリティパッケージです。

ネットワーク管理ソリューションにセキュリティ強化をプラス



① 多要素認証とデバイス制御による安全な VPN 接続

ID・パスワードに加え、コピー不可のデジタル証明書を用いた多要素認証を採用。

許可されたデバイスのみがVPN接続可能となり、認証情報の漏洩による不正アクセスリスクを大幅に低減します。

② ID 管理・シングルサインオンによる利便性向上

ID 管理システム (Soliton OneGate) と連携することで、Microsoft 365などのクラウドサービスとの ID 連携やシングルサインオン (SSO) が可能です。

セキュリティを強化しながら、利用者の操作性を損なわない認証基盤を構築できます。

③ 運用まで含めたマネージド設計

クライアント VPN のゲートウェイとなるネットワーク機器は、最新の安定版ファームウェアへ自動アップデートされる設計となっており、古いファームウェアの脆弱性を狙った攻撃リスクを軽減します。

セキュリティ対策において見落とされがちな「運用負荷」や「更新漏れ」を、サービス側でカバーする点も本サービスの特長です。

■ゼロトラストを見据えた拡張性

さらに、VPN 環境外のデバイスも含めて社内外を同一のセキュリティレベルで保護したい企業向けに、SASE や ZTNA と連携可能なプランも用意しています。VPN 対策から段階的にセキュリティを高度化できるため、将来的なゼロトラスト導入を見据えた設計が可能です。

■ 今後について

当社は今後も、「すべてを自社で抱え込まなくても実現できるセキュリティ」をテーマに、中小企業の実態に即した

ネットワーク・セキュリティサービスの拡充を進めてまいります。

■ 導入に関するお問い合わせ

セキュリティ要件や運用体制に応じた構成についてのご相談も承っています。

VPN 環境の見直しや、多要素認証・ZTNA 導入の第一歩として、お気軽にお問い合わせください。

▶ お問い合わせフォーム

<https://lp.e-bcc.co.jp/contact>

■ BM X 詳細はこちら

BM X Type M の詳細については、公式サイトをご覧ください。

ネットワークをマネージドで提供する「BM X」サービスの特長や導入イメージをご紹介しています。

▶ BM X 公式サイト

<https://www.e-bcc.co.jp/solution/bmx.html>

■当社業績への影響

本発表の内容が当社の業績に与える影響はございません。

以上